

赤十字みやざき

2020年 新年号



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
宮崎県支部



救うことを、つづける。

十字の窓。

その窓は、苦しむ人びとに開かれ、
救いの手を差し伸べる窓。

日本赤十字社は、
一人ひとりが救うという強い意志を持って
日々、かけがえのない命と向き合っています。

命をつなぐ十字の窓は、
これからも、決して閉ざされることはない。



謹賀新年

旧年中は大変お世話になりました
心からお礼申し上げます
本年もどうぞよろしくお願いたします

日本赤十字社宮崎県支部 一同

HAPPY NEW YEAR 2020



活動報告



NHK 海外たすけあい 12/1 ~ 12/25

世界で苦しんでいる人を救うため、今年もNHK 海外たすけあいキャンペーンを行いました。期間中は街頭募金も行い、たくさんの方にご協力をいただきました。

奉仕団リーダー研修会 10/8 ~ 10/9

赤十字奉仕団の中でも主導的立場の方を育成することを目的に行われました。34奉仕団から50名の方が参加し、熱心に研修に取り組みました。

災害時救援赤十字奉仕団野営訓練 9/28 ~ 9/29

災害が発生したときに、けがの手当てや炊き出し、救援物資搬出の支援を行えるように、1泊2日で野営訓練が行われました。一週間前に延岡市で竜巻災害が発生したこともあり、例年以上に力の入った訓練となりました。



若年層向けボランティア育成講座 12/6

学生たちに赤十字への理解を深め、ボランティア活動に、より積極的に取り組んでもらうことを目的に、宮崎産業経営大学にて、授業の一環としては県内初の赤十字ボランティア育成講座が行われました。



特集

災害に備える

～いのちを守るために～



日本赤十字社の災害救護の歴史は、1888年7月の磐梯山噴火における救護活動から始まります。当時の赤十字の活動は、戦地における戦時救護を目的としたものでした。しかし、世界の赤十字で初となるこの自然災害に対する救護活動を契機に、赤十字の活動は平時救護も対象となり、以降**130年以上**にわたって様々な災害救護活動に取り組んできました。



災害では何よりも初動が大切。迅速に動けるよう、関係機関との訓練は欠かせません。



ご案内

2020年には、宮崎県にて九州八県支部合同災害救護訓練が11月に実施されます。

日本赤十字社宮崎県支部では、災害に備え様々な資機材も整備しています。



左から、通信指令車・救急車・資材運搬車

通信指令車には業務用無線や衛星電話が備えられ、災害で固定電話や携帯電話が不通となっても、連絡を取り合うことができます。

※衛星電話…人工衛星を使って通話ができる電話



日赤県支部には毛布やタオルケット、日用品が入った緊急セットなどの災害救援物資が備えられており、被災された方や避難所等へ届けられます。

昨年は、延岡市で竜巻災害が発生した際に約1000枚のブルーシートをお届けしました。



災害救援車両



備蓄倉庫



ガソリン発電機

災害救援物資は、日赤県支部だけでなく、各市町村にある赤十字の窓口にも備蓄されており、被災された方へ素早く物資を届けられる体制をとっています。

また、各市町村の赤十字窓口からの要請に応じ、支援する体制も整えています。

防災・減災対策は、人を育てることも重要です。

わたしたちは、「自助・共助・公助」の観点から、災害の際に何よりも

まず**自分の身の安全を確保**すること、そして**互いに助け合う**ことを大切にしています。

そのため、日々様々な活動を通じて、人々の防災意識の向上に努めています。

救援物資の搬出訓練



学校での炊き出し体験

学校や自治会
からのご依頼を
お待ちしております



地域の防災訓練に参加



保護者向け防災教室



災害救護のほかにも 様々な活動に取り組んでいます!!



赤十字を体験!!



命の救い方
伝えます!!



子どもたちに
赤十字を普及



ボランティアの
方を支援します



活動の場は世界中です



赤十字の活動は、
すべて皆様からご寄付いただいた活動資金によって
行われており、行政からの補助金は一切ございません。
しかし、近年は活動資金の確保に
苦慮している状況であり、
10年前と比べて
約3割減少しています。

これからも、救うことを続けるために、
皆様のご協力をよろしくお願いします。



コラム【なぜ日赤は行政から補助金を受けないのか？】

赤十字には、「独立の原則」というものがあります。もし、赤十字が行政から補助金を受けると、赤十字の自主性や公平性、中立性が損なわれてしまいます。そのため、赤十字は行政からの補助金を受けることなく、皆様からの活動資金で運営されています。

お知らせ

赤十字支援型自販機の 設置が県内で80台を超えました!!



売上の一部を赤十字にご寄付いただく支援型自販機の県内設置数が、85台となりました。これも偏に、皆様のご理解とご支援のおかげです。引き続きご協力いただける企業・個人の方を随時募集しています。お気軽にお問い合わせください。



赤十字支援型自動販売機の設置 (設置企業募集中) !!

**売上金の一部を赤十字に寄付
設置にかかる費用は無料です。**

(但し、電気代は設置者様のご負担となります)

設置にかかるご相談は、日本赤十字社宮崎県支部まで

- 飲料品自動販売機の設置・管理
- 売上金の回収
- 赤十字への振込

すべて飲料会社が行います。
設置者様にご負担はかかりません。

赤十字マークと
設置企業様の名称等を
前面のPR画面に
掲示することもできます。



義援金・救援金のご協力、ありがとうございます。

●受付中 (R1.12.1 現在)

東日本大震災義援金 (R2.3.31迄)	652,563,601円
平成28年熊本地震災害義援金 (R2.3.31迄)	155,163,850円
平成29年九州北部豪雨大雨災害義援金 (R2.3.31迄)	13,765,512円
平成30年7月豪雨災害義援金 (R2.6.30迄)	56,064,749円
北海道胆振東部地震災害義援金 (R2.3.31迄)	7,271,637円
令和元年8月豪雨災害義援金 (R2.2.28迄)	800,959円
令和元年台風第15号千葉県災害義援金 (R2.3.31迄)	650,691円
令和元年台風第15号東京都義援金 (R2.2.29迄)	93,704円
令和元年台風第19号災害義援金 (R2.3.31迄)	5,490,953円
中東人道危機救援金 (R2.3.31迄)	4,265,486円
バングラデシュ南部避難民救援金 (R2.3.31迄)	92,424円

※受付開始からR1.12.1までの総額です。



香典返しについて 香典返しを寄せられた方々 (2019.7.1 ~ 2019.11.30) ※順不同

- | | | | | | |
|-------|---------|---------|--------|---------|--|
| 【県支部】 | 福山 美佐子様 | 久保 通子様 | | | |
| 【都城市】 | 福重 健士様 | 黒木 政則様 | | | |
| 【延岡市】 | 草宮 富子様 | 杉 迪枝様 | 眞下 久乃様 | 大平 サツキ様 | |
| | 黒川 公美野様 | 徳 弘 安永様 | | | |
| 【国富町】 | 猪股 京子様 | | | | |

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。ご遺志に沿い赤十字事業に有効に活用させていただきます。

<http://miyazaki.jrc.or.jp>

日本赤十字社宮崎県支部

検索



宮崎太陽銀行本店から徒歩2分です
※九州労働金庫宮崎支店裏

〒880-0802 宮崎県宮崎市別府町3-1
☎0985-22-4045 ☎0985-22-4178
✉miyazaki-info@miyazaki.jrc.or.jp